

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 飯田市子ども発達センターひまわり | | 公表日 | | 7年3月4日 | |
|---------|--------|---|-----|---------|---|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 22 | 1 | 行事等で全員登園の時は、ややスペースが不足していると感じるので、活動や部屋を分ける等工夫をしている 登園後等、皆で過ごす狭くなりそうな時間は、部屋から出て、個々に合った遊びや姿勢・動きの経験が出来るように工夫している 個別対応が必要な子がいるので、担任間で活動に合わせ、動きや位置を確認。どの子どもも安心、安全に過ごせるよう配慮をしている。 各クラス人数に対し、担任、支援の職員が適切に配置されている。 支援パートの先生も配置され、活動や日々の業務等手助けしてもらっている。 登園人数に応じて職員の出動人数を調整している。 適切な配置になるよう、代替職員の確保、園内での職員の調整をしている。難しい時は活動の工夫をしている。 1クラス担任3人に加え、支援職員が1人付いている。 重心児が在籍するクラスの為、保育士だけでなく、PT、看護師が在籍し、子どもの安心安全を第一に過ごしている。 支援の先生がいるが、場面や子どもの姿によっては、フォローをお願いしたい時もあり、事務室に依頼している。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 22 | 1 | クラスの子どもの姿に合わせ、床のフローリング、カーペット等、配慮されている。 動線を短くしたり、衝立を使い個々に合わせた分かりやすい環境を整えるようにしている。 個々に応じ、スケジュールや構造化、写真や絵カード等、視覚的要素を使った環境を整え、自己選択、自己決定をしながら安心して過ごせられるよう配慮している。 ロッカーで支度スペースを作る等、生活の動線も考えながら環境がつけられている。 個室に区切れる空間を作っており、子ども自ら動きやすい環境になっている。 ロッカーの位置、スケジュール等分かりやすく構造化されている。また個々に合わせて衝立や手順表等を活用し、個に合った生活環境になるよう調整、見直しを行っている。 | 休みを取る時に、代替の職員の確保が難しい時があるので、改善して頂きたいです。 | |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 22 | 1 | 活動に合わせ、机、椅子、道具等、環境を変えて行っている。 毎日の気温や室温、湿度をチェックして、過ごしやすい環境を整えるようにしている。 設備が古いこともあり、床暖が切れていたり排水溝の臭いが気になったりすることがあるが、マットを敷いたり掃除グッズを活用したりしてできる範囲で対応している。 毎朝掃除を行ったり、部屋の掲示等その都度整理している。 毎日、朝と夕方、部屋やトイレ、玩具等の塩素消毒や掃除を行っている。 廊下にエアコンがない為、夏場暑い。また、廊下の床暖が半分効かず、冬場寒い。廊下が快適に過ごせる場所になると、活動に応じて活用でき更に良くなると感じる。マットを敷く、部屋の窓をあげ冷気をおくる等の工夫をしている。 | 子ども用の手洗い場がない、踏み台を使用し、高さを調整をしているが、危険だと感じる時がある。(ぼんだ組) トイレの手洗い場所が一つで、スムーズな流れが難しい時があり、検討が必要。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 23 | | | トイレのカーペット、汚れてしまうと洗うのが大変。なにか良い物があれば。。。と思う。 | |

| | | | | | | |
|------|----|--|----|---|---|--|
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 23 | 子どもの姿に合わせて、衝立で個室を作ったり、廊下、園庭に出るなど安心して過ごせる環境作りをしている。 発熱対応などで、個別対応が出来るように、相談室など、使用可能な部屋が、一瞥で分かりやすくなっている。 姿に応じ、個室や部屋以外のスペースを使える環境がある。 必要に合わせて、個別の部屋が確保できるように、倉庫内を整備して使用している。こどもの姿に合わせて、個のスペースの確保や刺激の調整でクラス内の倉庫や、外来棟の空いている部屋を活用している。 姿に合わせて衝立等も使いながら個別のスペースを作り過ごすことができています。 衝立を使用したり小上がりの空間やカーテンを使ったりしながら、こどもの姿に合った環境を整えるように努めている。。 | 通園部内に、遊戯室以外の個の空間、部屋があると、クールダウンにつながりやすくなるのではないかとすることも、クラス内で工夫している。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 23 | 活動は日誌を参考にして組み、反省を生かしている。 リーダー会などを通して、事務改善について話題にし、日々の業務の振り返りを行う。また今年度は事務改善として、システム導入に向けて打ち合わせを行ない、準備及び周知に繋げている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 23 | 年に1度アンケートを実施している。 保護者からの意見をまとめ、職員間で情報共有をし、意見、要望等、話し合い改善に努めている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 24 | 個別面接やリーダー会、職員会など意見を伝える場があり、改善策など考え合い職員間で共有し、改善に繋げる環境がある。 会計年度任用職員、パート職員の意見も真摯に聞いて頂き対応してもらっています。 給食検討会議で意見、要望を聞き、改善している。 職員会、クラスリーダー会等で各クラスの様子や担任間で考えている手立て等共通理解ができる機会になっている。 定期的に担任会を設け、クラス内で子どもの姿の変化や意見交換、すりあわせを行っている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 19 | 3 | 外部の第三者による評価については、情報収集をしながら実施に向け検討していく。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 22 | 保護者の方に協力をして頂き、PM研修を行っている。色々な講師から指導を受け、勉強になっている。 年度始めに研修係が計画を立て、園内での研修を受講する他に、回覧などで情報を得て、研修を受ける環境の整えがある。 出席できなかった研修も、後日アーカイブ等に対応してもらい参加できていて有難かったです。 職場内研修、外部研修の計画、実施がされ、多数参加できている。 毎月一回午後研修が予定されている。研修の内容もその年によって学びたいことについて受講することができている。 様々な内容の園内研修があり、学びを深める機会がある。 外部研修の情報を発信してもらおう中で、自分で選べる参加できる環境がある。 当施設に外部講師を招き研修や講習を行い、質疑応答等の意見交換、助言を頂く機会を設けている。 | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 23 | 支援プログラムの公表は、2月にホームページにて行う 保育室内の目につきやすく手に取りやすい場所に資料を置き、保護者にも口頭で知らせている。 | | |

| | | | | | |
|----|--|----|---|--|---|
| 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 23 | 相談支援専門員の行うモニタリングの内容も共有し、個々のアセスメントを基に作成している。 保護者と話したこと、相談内容等は必ず職員間で話し、共通にしている。 担任間で子どもの姿や保護者のニーズなど共有しながら、アセスメントを行い個別支援計画の作成を行っている。 保護者より書いてもらったり、聞き取ったりした願いを基に支援計画の作成を行っている。 年度始めに「こどもへの願い」を保護者に提出してもらい、こどもの姿や保護者のニーズも踏まえて計画作成するよう意識している。 日常の会話や連絡帳での伝え、個別懇談等で、家庭とこどもの姿を共通にし作成している。 | | |
| 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 22 | 計画・検討・作成に担任(複数)、児童発達支援管理責任者、所長が関わり、子どもの姿、思い等を照らし合わせながら検討が行われている。 各クラスの個別支援計画の検討会の中で、こどもや保護者の様子、思い等の意見を出し合い作成している。 保育士だけでなくPTや看護師の意見も取り入れ検討している。 個別支援計画検討会では、管理者・児発・クラス担任(3名)を構成メンバーとし、こどもや保護者の様子を確認しながら、支援計画の検討を行い、作成している。 | | |
| 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 23 | 支援計画に基づき、日々の子どもの姿や支援の内容を記録し、担任、管理者、児発で共有し、次の支援につなげている。 児童発達支援計画を元に、その都度支援や姿を担任間で共有し支援を行っている。 立案、計画した内容を担任間で共有し計画に沿って支援を考え実施している。 日々の記録をしながら振り返り、支援を行っている。 作成時に職員間で共有し、日々の療育を組み立てる際のねらいも計画に沿ったものになるよう意識している。 月まとめの記録の中で、計画に沿った実践の進捗状況をクラス担任(3名)・児発・管理者で確認し、翌月の支援に繋げている。 | | |
| 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 22 | 1 | 支援計画の目標に対するこどもの姿を個人ケースに記録し確認をしている。 日々の行動の様子や行事、保育園交流、受診の様子等も個人ケースに記録し確認をしている。 | インフォーマルなアセスメント(太田ステージ等)は個々で完全に活用できているとは言えない部分がある。 |
| 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 23 | 支援計画に沿って、生活や遊びの場面に意識して取り入れている。 ガイドラインに沿って支援内容を検討し、職員間で姿や支援方法を共有し、具体的な支援内容を設定している。 こどもの姿からガイドラインに沿って支援内容を検討し、計画の立案、実施をしている。 計画作成の際に、毎回ガイドラインを確認しながら支援内容を検討している。 具体的な目標や支援内容をスモールステップですすめていけるよう検討している。 子どもの姿に合わせて、柔軟に対応していくよう心掛けたい。 | | |

| | | | | | |
|----------|----|---|----|---|---------------------|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 23 | <p>登園する子に合わせて活動をチームで考えたり、内容を工夫している。</p> <p>週リーダーが立案したものを、担任間で検討し子どもの姿に合わせて活動ができるようにしている。</p> <p>クラス担任間(3名)で、こどもの姿に合わせ、活動やすすめ方、ねらい等相談し共有、立案している</p> <p>クラス内での週リーダーが主となり活動を進めている。活動の内容については担任間で考え合って決めることもある。</p> <p>主に週リーダーをする担任で、活動のねらいやしてみたい遊び等共有し取り入れている。</p> <p>担任間で相談し意見を出し合いながら、ねらいやすすめ方など考え提供している。</p> <p>翌週の週案とそのねらいを担任間で共有している。</p> | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 23 | <p>色々な経験ができるよう活動を取り入れたり、同じ活動の中でも、ねらいに合わせた遊び方を工夫している。</p> <p>感覚遊び等、繰り返し経験する中で積み重ねる姿もあるので、固定化する事もあるが、内容や環境はその都度変化・工夫をしている。</p> <p>素材研究、活動を通して経験できる内容等担任間で話し合いを設けたり、専門スタッフのアドバイスを参考に活動を取り入れている。</p> <p>こども達の姿や興味に合わせて、担任間で共有し、活動内容を変えたり、遊びに変化を付けながら工夫している。</p> <p>こどもの興味関心に合わせた活動内容を考え、固定化されないようにすすめている。</p> <p>活動を振り返り、遊び方に変化をつける、様々な素材を使う等している。</p> <p>週案とねらいを共有している為、療育内容が続かないよう配慮している。経験の積み重ねをねらう際は、同じ療育内容を組む場合がある。</p> <p>他クラスと情報交換、情報共有をしながら、活動の工夫をしている。</p> | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 23 | <p>母子通表を作成するときに、個別学習を入れるように計画し、行った記録を記入、クラス職員が課題内容や姿を共有できるようにファイルにまとめている。</p> <p>支援の必要な子どもには、先に衝立を使用し個別の遊びがまんぞくできるようにする。その後、後半は集団で遊ぶといった工夫をしている。</p> <p>登園後の時間を使って個々にあった遊びや姿勢・動きの経験ができるように工夫している。</p> | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 23 | <p>毎朝、支援の先生を含め、活動やこどもへの支援、その日に大切にしたいこと、近日の子どもの様子、登園時間や単独の状況等を含め、情報や担任の動き等、確認し共有している。</p> <p>受け入れ前に担任間で、個の姿や職員の動き、活動のねらい、保護者支援について等話をし、連携を図りながら支援を行えるようにしている。</p> <p>クラス内で週リーダーを中心に、活動のねらいの確認、子どもへの支援内容の確認、環境設定、担任の動き等を共通にして療育を行っている。</p> <p>登園する子の体調の伝えや、いつもと違う流れで活動を行う時、活動のねらい等を朝の時間に伝え合うように心掛けている。</p> <p>活動内容、こどもの姿で予想されることを担任間で共有し、連携をとりながら進めるようにしている。</p> <p>朝礼後に活動の内容やねらいを確認している。</p> <p>朝礼、登園前の朝の時間、午睡中、降園後の夕方の時間を使って話をしている。</p> | 担任会など担任間の情報共有を確実にする |

| | | | | | |
|----|--|----|--|---|--|
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 23 | | <p>日々、子どもの姿、支援の様子、母と話した内容等、伝え合い、担任間で共有している。</p> <p>その日の振り返り以外にも、定期的に担任会を行い職員間で支援や姿を振り返り、共有をしている。</p> <p>生活や活動での子どもの姿や保護者の様子、思い等情報共有を行い、次の支援に繋げていけるよう話をしている。</p> <p>その日の子どもの様子、母子の様子、活動の振り返り等を担任間で出し合い、今後の支援や環境設定、個別グッズ等に活かしていく。</p> <p>出勤・退勤時間が異なり毎日全員で話すことが難しいが、午睡中の時間を使ったり、定期的に全員で行う担任会を開き情報を共有している。</p> <p>降園後、こどもの姿や保護者からの要望等、職員間で情報を伝え合い、内容や支援が共有できるようにしている。</p> <p>夕方や朝の時間等、活動やこどもの姿、支援等担任間で振り返り、次の支援をどうするか共有している。</p> <p>子どもの姿の予想と結果、家庭からの声、支援内容等すり合わせている。</p> | |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 23 | | <p>毎日週リーダーが日誌を記入し、反省や振り返り、次の支援につなげる。</p> <p>個々のケースへ姿や特記事項の記録を行っている。</p> <p>その日の子どもの姿や支援をしてみた結果、保護者とのやりとり等、担任間で共有したり、振り返りもしている。</p> <p>日誌や個の記録を行い、振り返りや次の支援を考え実践に繋げている。</p> <p>ケース記録に残すと共に、場合によっては主任から助言をもらっている。</p> <p>個別支援計画に基づき、目標に対して子どもの姿、支援した内容、保護者との関わり等の記録をとっている。</p> <p>すぐパソコンが使えない時にはスマホなどに記録し、忘れないよう記録している。</p> <p>気付いたことを担任間で話題にし、記録するよう心掛けている。</p> <p>ケース記録、日誌にて個々の姿や活動内容について記録し、振り返りを行っている。</p> <p>ケース記録に書き綴り担任間で共有し、こどもの姿から手立てを考えている。</p> | 記録を入力する時に、パソコンに限りがあるので、時間をうまく使っていけるようにしたい。 |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 23 | | <p>相談支援専門員からのモニタリングを共有しながら、姿の振り返り、支援の方向を考えている。</p> <p>相談支援専門員とのモニタリングを行い、子や保護者についての情報共有を行っている。</p> | |
| 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 23 | | | |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 23 | | <p>医療コーディネーターが配置され体制が更に整ったと思う。</p> <p>保育園、小学校、養護学校との連携をとりながら、途切れのない支援がおこなえるようにしている。</p> <p>必要に応じてすぐに連絡をとっている。</p> | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|----|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 23 | 移行に向け、支援、こどもの姿について打ち合わせを行ない、保育園交流では、担任が同行し、保護者、保育園、担任と支援内容を共有している。 並行通園は行っていない 移行に向けた交流を計画、実施し、交流前にはこどもの姿や必要な支援について資料を作成し、保育園と情報共有を行なっている。 保育園移行に向けて、家庭、保育園と連絡を取り合い進めている。 見学から同行し、体験、交流等に向けて、支援内容をまとめた資料を作り、移行先と共有している。移行先と連絡を取り合い、卒園児フォローだけでなく支援会議等も必要に合わせて実施している。 移行に向けて交流を行い、必要に応じて担任が同行している。移行前には保育園等、移行先の職員にセンターに来てもらい、児の様子を見てもらう機会を設けている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 23 | 学校と連携を図りながら、見学や体験、支援内容の情報共有など図っている。 見学から同行し、体験、交流等に向けて、支援内容をまとめた資料を作り、移行先と共有している。移行先と連絡を取り合い、卒園児フォローだけでなく支援会議等も必要に合わせて実施している。 見学、体験に担任も同行している。 特別支援学校の先生が当センターでのこどもの姿を見学し、その後、姿や支援について面談を行っている。引き継ぎ資料を作成し、確実に姿や支援の引き継ぎを行う。 | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 23 | 児童発達支援情報交換会 個別ケースでの情報連携 県内の児童発達支援センターの情報交換会に参加する事で、新しい視点での取り組みにつながるような情報交換や、共有につながっている。 | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 23 | 研修等、様々な分野の先生方が講師となり、とても勉強になっている。 クラス活動にOTやSTの職員に入ってもらい、アドバイスを頂いたり、研修に参加する場が保障されている。 定期的にOT,ST等クラスへの指導の機会がある。 病院とも連携し、食事OT、摂食ST等来所し支援の共有、助言を頂いている。 | |
| | 30 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 23 | 子ども部会事務局で参加 医ケア・重心チーム副チーム長、構成員で参加 | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 8 | | |
| | 32 | 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。 | 22 | 年間の予定の中で、松尾東保育園との交流を定期的に行い、地域の園の子どもと一緒に過ごす機会となっている。 活動後は、担任間で振り返りを行っている。 保育園交流を行い、お互いの園を行き来したり交流する場がある。 同地区の松尾東保育園と年8回の交流の機会を計画、実施している。当センター、保育園の両方のそれぞれの環境で、遊びを通して交流をする機会になっている。 松尾東保育園との交流を行い、こどもの姿、園での様子について保護者と共有できるようにしている。 | |

| | | | | | |
|----|--|----|--|---|--|
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 23 | | <p>母子の時間や連絡帳を通して、姿を伝え合ったり、発達の状況や、必要な支援について一緒に考え合ったり、共有している。必要に応じて別室で懇談も行っている。</p> <p>特に母子の日は日々の生活の様子や困っていることを聞き話し合えるよう意識して関わっている。</p> <p>保護者とのコミュニケーションを心掛け、話せなかった時には連絡帳等も使いながら共有している。</p> <p>登園後の時間や母子通園日に、子どもの姿を共有しながら支援を共通にしたり、子の姿を認め合うよう心掛けている。</p> <p>母子通所や連絡帳を活用し、姿や支援について保護者と共有している。</p> | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 23 | | <p>母の会学習会や視覚支援学習会や、専門スタッフによる学習会を実施し、こどもの理解につながる支援を考え合っている。</p> <p>視覚支援学習会やサポートブック学習会を実施している。</p> <p>視覚支援学習会を年に数回行っている。</p> <p>定期的な視覚支援学習会や言語聴覚士による学習会を実施し、こどもの理解につながる支援を考え合っている。</p> | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 23 | | 4月の契約時の母研修にて、資料を確認しながら、説明を行っている。 | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 23 | | <p>保護者が記入した「こどもへのねがい」や、日々の聞き取りの中から、保護者の思いを把握し、支援計画に取り込みながら計画している。また保護者とも計画の共有をし、その都度保護者の思いや悩みなど把握し一緒に考え合うようにしている。</p> <p>保護者が年度当初に記入する子どものねがいを参考に意向を反映している。</p> <p>支援計画の中に、保護者の「子どもへの願い」を参考にしながら、計画作成を行っている。また、保護者との面談の中で、子どもの姿の理解や、保護者の思いを聞き取り、日々の支援に繋げている。</p> | |
| 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 23 | | <p>支援計画の説明を行う日を設け、内容を伝えながら説明をし、同意を得ている。</p> <p>対面で個別支援計画書と一緒に目を通しながら説明し、サインを頂いている。</p> | |
| 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 23 | | <p>必要に応じて心理士等、専門職につないでいる。</p> <p>連絡帳や母子の日に家庭の様子や悩み、困っている事を聞き取り、担任間で共有し、手立てを一緒に考えたり、母から発信があった時には必要に応じて懇談をするなど、直ぐ応じられるようにしている。</p> <p>姿に合わせ懇談をする時間をつくり、助言や支援を行うよう心掛けている。</p> <p>相談があった場面は、すぐにリーダーに報告、自分の対応を話し対策をとっている。</p> <p>日々の聞き取りの中や保護者の様子を把握し、必要に応じ面談を行ったり、必要な機関と連携を図りながら支援を行うようにしている。</p> <p>保護者から相談があった際、個別対応など、話が聞ける場面を設定している。</p> <p>連絡帳や母子の時を活用している。必要な時には懇談する機会も設けている。</p> <p>寄り添いを主に、必要であれば専門の先生へ繋げている。</p> <p>保護者やこどもの姿に合わせて、別室での面談を行い、保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、子育ての悩みや、支援方法について共有、助言に努めている。</p> | |

| | | | | | | |
|----------|---|--|----|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 22 | 1 | 保護者同士の交流ができるように、行事の予定は、早目に伝え参加をすすめている。 保護者会、母の会のおしゃべり会や学習会への協力をを行う。 | 兄弟同士で交流する場合は設けていないが、きょうだいの行事参加やきょうだいに関する子育て相談等を充実させていく。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 23 | | 保護者からの苦情については、管理者、児発に報告をし、適切な対応について相談している。 担任、もしくは主任や所長を窓口とし、意見を担任間で共有して共通の対応ができるようにしている。 保護者からの申し入れ等、すぐに所長、児童発達支援管理責任者に報告し対応している。 園だよりで周知している。 苦情受付体制を基に、相談内容や申し入れを迅速に報告し、管理者による迅速な周知、対応が行われている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 23 | | ひまわり通信、クラスだよりの活用。 行事についてのクラス便りの発行、お知らせの板書をクラス内に置いて周知する等実施している。 定期的にお便りにて、行事や活動等、情報を発信している。必要に応じてメールも活用し、必要な情報共有に努めている。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 23 | | 研修を受けると共に、個人情報の持ち出しなど、一切しないように職員間で共有している。 取り扱いに注意している。 資料等を、机の上に置いたままにしないよう退勤する時には必ず鍵付きのロッカーに片付ける。 個人ケース記録等、個人情報については、施錠できる場所へ保管し、管理している 個人情報同意書での共有 ケース、パソコンなど施錠できるばしょに保管している。施設外で個人の話をしていないようにしている。 | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 23 | | 個々に合わせた視覚支援を取り入れたり、サインやジェスチャー等も行ったたりしている。 配慮の必要な保護者には個別にスケジュールを細かく伝える、手立てを丁寧に伝える等している。 視覚支援、ジェスチャーやサインを子どもの姿や理解に合わせて活用している。構造化をし、わかりやすい環境的配慮・工夫を実践している。 視覚的要素の活用、ジェスチャーやサイン、分かりやすい構造化で環境的配慮、工夫を実践している。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 23 | | さつま芋掘り、やきいものお届け、散歩の時の挨拶やちょっとした会話など、大切に考えている。 あすなる農園との交流の実施 焼き芋会の招待をしたが実現していない 入園、卒園のつどいに市長、民生委員の方に来てもらっている 地域の方々の農園でじゃがいも掘り、さつま芋掘りに参加し、地域の方と交流する機会になっている。 | |
| 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 23 | | 年度始めに、緊急シミュレーション研修を行っている。変更は、その都度周知されている。 研修を行い、マニュアルの把握、対応、処置の方法を身につけている。 月1回、避難訓練の実施。各種マニュアルを掲示し周知している。 | マニュアルはあるが、保護者周知が、お便りでの部分的な伝えのみとなっており、充分ではない。周知の仕方を工夫する。 | |

| | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--------------------------------|
| 非常時等の対応 | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 23 | 月1回災害、防犯の発生に備えて避難訓練を実施している。こどもの姿を想定して担任間でどのようにこどもや保護者と関わったらよいか、担任間の役割等も確認をしている。 | BCP策定済みである。今後内容の精査、周知について検討する。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 24 | 入園の際に両親より聞き取りをし、看護師を中心に面談を行い確認をしている。その内容を職員で共有し、把握している。体調の変化等、看護師に見てもらったり、受診の様子、服薬や発作の様子等の情報を共有し、保護者と確認をしている。個別のケースについては看護師、担任と連携して把握。緊急時対応名簿にまとめている。看護師を主体に管理してもらい、研修がある中で情報を年度当初に伝えてもらっている。服薬による除去食対応が必要な場合、指示書をもとに給食を提供している。4月にてんかん発作等緊急シミュレーション研修を行い、服薬がある時には保護者、担任、看護師と確認を行っている。看護師を中心に、服薬やてんかん発作について聞き取りを行い担任間で共有している。指示書、受診情報の聞き取りを行っている。年度当初に看護師による研修の中でも全体で確認している。薬の変更や受診があった際には、看護師を交え必ず確認している。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 23 | 年度始めに医師の指示書を提出してもらい、指示書に基づき対応している。机を分けたり、配膳やおかわりのミスがないように声をかけ合っている。指示書をもとに給食を提供している。指示書を基に懇談を行い、対応している。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 23 | | 安全計画は作成済みである。今後は精査していく。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 23 | 避難訓練については家族の参加も求め連携している。 | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 24 | 朝礼でその都度周知し、再発防止対策も職員全員で共有している。事故防止の反省と共に再度の確認をしている。ヒヤリハットがあった際は、朝礼で職員全体への伝え、担任間での対応や環境整備を行い、竿発防止に努めている。公園遊具の落下危険個所に利用時の網設置を対策した給食（パン）に異物混入があった時、クラスの職員にも周知し、全体で注意して見ていくようにした。怪我や事故があった時、ヒヤリハットに記録、報告し、全職員で共有できるようにしている。ヒヤリハット事案については、再発防止を踏まえた検討内容を、朝礼にて全職員に報告し、周知している。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 23 | リーダー会等で取り上げ、職員間で意識して対応している。虐待防止について話し合い対応について考え合っている。虐待防止委員会をリーダー会の中で定期的に行い、対応の振り返りや確認をしている。定期的な虐待防止委員会の中で、適切な対応について振り返りを行っている。 | |

| | | | | | |
|--|----|---|----|--|---|
| | 53 | <p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p> | 23 | <p>安全の為、ベルト固定等必要な児に対しては、保護者と固定方法を相談、確認をして了解を得ている。 身体拘束の指針は策定済み。重要事項説明時に説明している。 身体拘束について話し合い、状況に応じて保護者と相談するよう会議の中で確認を行っている。 使用する器機が変わったり、子どもの安全を優先したりする際に必ず保護者に立ち会ってもらい、PTや看護師を交え説明を行っている。</p> | <p>個別支援計画には必要な児のみに記載し、保護者の了解を得るようにする。</p> |
|--|----|---|----|--|---|